

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和58年7月12日 第14報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体系数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanocapsa elachista</i> var. <i>conferta</i> *	40		
(藍) <i>Oscillatoria tenuis</i> *	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	720	◎	○
(珪) <i>Melosira italica</i>	100		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	160		
(緑) <i>Quadrigula lacustris</i>	120		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	320	○	
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	60		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	60		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	60	3.3	8.9
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	920	51.1	24.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	2.2	1.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	780	43.3	65.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1800	総体積 (μm^3)	4.92E+06
種 類 数	14		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体系数(群体系数/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	720

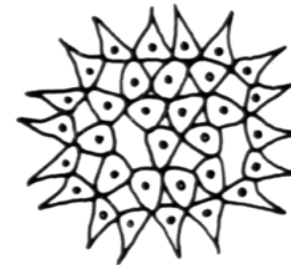
第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	320

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱
細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱
16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。